



台風の中はなぜ風雨がないの

台風の目は、空気のうずまきの中心

水を入れたバケツの中に指を入れて、指をぐるぐる回すと、水のうずまきができます。うずまきの中心を見ると、中心は、あながあいたようになり、水はありません。これは、遠心力（円の中心から遠ざかるうとする力）がはたらいていて、水が中心に近づけないようになるからです。

台風では、空気が台風の目（中心）に向かって、「うず」を巻きながらふきこんでいます。水のうずまきと同じように、空気が激しく回っているので、遠心力がはたらき、空気は台風の目に近づけなくなります。したがって、まわりの雲も、台風の目に近づけなくなり、台風の中は、風雨がないのです。

台風の目は、飛行機から見る事ができる

台風の目は、直接、人の目で見る事ができません。20キロメートル以上の高い空を飛ぶことのできる飛行機で、台風の上を飛ぶと、台風の間を見ることが出来ます。

台風の間の中にと、雲が少なく、青空が見られることもあり、今まで激しい暴風雨であったのが、うそのようです。しかし、しばらくして台風が移動すると、再び、暴風雨にまきこまれてしまいます。（監修・村山 貢司）

